

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年5月24日

### 2005年5月22日現在の概況：

5月22日に終わる週でも、州全ての気象観測所にて降雨を記録した。Willamette 盆地の1週間の降水量はポートランドで2.16インチを始め殆どの地区で1.04～1.94インチを記録した。NC地区に於いても降雨が続き Pendleton にて1.01インチ、Moro市では0.80インチであった。気温は全州に於いて平年を多少下回った。Clackamas 郡の1部では降雨の為倒伏する小麦が現れた。Morrow 郡の Subsoil の土壌水分は余り改善されていないが、連日の降雨で小麦の状況は改善した。Sherman 郡の冬小麦は出穂を開始した。多くの圃場の小麦が穂孕み期から出穂期となった。これ等の小麦にとい降雨は極めて有効で有った。NC地区では6週間前までは降水は全く無く、単位収量に大きな不安が有ったが5月の降雨により状況は好転した。1週間の州平均農作業稼働日数は3.5日（前週：3.6日）であった。春小麦の播種は全州にて完了した。土壌水分が改善し出芽が早まった。作柄評価は冬小麦、春小麦共に前週より改善した。土壌水分が保たれば、単位収量の改善が期待される。

USDA の5月1日付け冬小麦の生産予想では、単位収量は昨年実績の61.0Bu/acrより悪く55.0bushels/acrであった。5月までの降水不足が予想を悪くしたと言える。詳細は別表の通り。

### 土壌水分：5月22日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	0	11	78	11
Subsoil (%)	13	22	61	4

### 小麦生育状況：5月22日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Planted (%)	100	98	100	99
Emerged (%)	91	88	94	85
Winter wheat Headed (%)	42	23	43	24

### 小麦の作柄状況：5月22日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat This week (%)	1	6	29	54	10
Last week (%)	2	7	37	49	5
Spring Wheat This Week (%)	0	12	38	45	5
Last Week (%)	0	14	44	37	5

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

5月1日付け USDA 発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre		Production 1,000 bushels		
	2004	2005	2004	2005	2003	2004	2005
OR	780	840	61.0	55.0	47,940	47,580	46,200
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	1,716,721	1,499,434	1,590,862

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>